

森川哲郎 シゲロ 著述家。大正十二年二月二十一日東京生れ、昭和五十七年十一月十七日歿（一九二一—二〇一〇）。早稲田大學及び日本大學中退。帝銀事件の死刑囚平澤真造の無實を主張し、救済會の事務局長として活動したことが有名。

譯著書、アイダ・ベリー・アレン著『美と健康のため』（訳、昭和二十一年十一月、千五百貨社）、『無取の百年（株は生きた男たち）』（昭和四十一年十一月、千五百貨書店）、『日本脱獄史―生死を賭けた知恵―』（昭和四十六年一月、千五百貨文芸社）、『現代暗殺史』（昭和四十六年十月十五日、三書房「三一新書」）、『葉隠入門』（昭和五十四年九月一日、日本文芸社）、『日本怪盗伝』（昭和五十四年十一月、三書房）、『獄中二十二年―「死刑囚」平沢と共にお生き』（昭和五十五年九月、千五百貨現代史出版会）等。

